群馬大学大学院理工学府物質・環境部門　教員公募

1.職　　名　助教

2.募集者名称　国立大学法人群馬大学

3.所　　属　大学院理工学府　物質・環境部門（化学システム工学プログラム）

4.業務内容　研　究

・エネルギー・環境工学分野における、カーボンニュートラルの実現を志向したセラミックス材料・デバイスに関する開発研究

・群馬大学が推進する重点支援プロジェクト、産官学連携プロジェクト、国際連携プロジェクト　等

教　育

・大学院・学部学生に対する教育・研究指導

・担当授業科目

【学部】[専門教育]

物質・環境基礎実験、エネルギー材料科学実験 II、化学システム工学実験、課題解決セミナー、プロジェクト参加研究　など

[教養教育]

担当科目は着任時のカリキュラムに基づき決定

【大学院】理工学特別演習(授業補助)、理工学特別実験(授業補助)　等

管理運営・社会貢献

・理工学府および化学システム工学プログラムの管理運営に関する業務

・理工学府、物質・環境類が進める（社会貢献活動）への参画・協力

5.勤 務 地　桐生市天神町 1-5-1　桐生キャンパス

6.募集人数　1 名

7.採用予定日　令和 9 年 6 月 1 日(以降のなるべく早い時期)

8.専門分野　大分類：ものづくり技術

小分類：無機固体材料、電気化学、エネルギーデバイス、プロセス工学

9.任　　期　5 年

再任（5 年）1 回まで可。任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10.応募資格　次のいずれも満たす者

（１）博士の学位を有する方又は着任までに取得予定の方

（２）修士の学位取得後、12 年以内の方

（３）無機固体材料の構造または物性の評価・解析における優れた研究業績を有し、佐藤和好教授と協力してエネルギー・環境工学の分野においてカーボンニュートラルを志向したセラミックス材料およびデバイスの研究開発を推進するとともに、化学システム工学分野における大学院・学部教育および研究指導に熱意と意欲を持って取り組める方。

（４）社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方

11.給　与　年俸制適用　退職手当あり

本学教職員就業規則及び２号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定

ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり

教職員就業規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf

２号年俸制適用教員給与規則

https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf

12.就業時間　8：30～17：15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用

(1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)

13.試用期間　６か月

14.休日・休暇　土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

年次有給休暇、特別休暇等

15.社会保険等　文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険

16.受動喫煙防止措置の状況　敷地内禁煙（ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置）

17.応募締切　令和 9 年 1 月 29 日必着

18.提出書類　（１）教員個人調書（本学所定様式）
（２）教育研究業績書（本学所定様式）
（３）科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
（４）その他の履歴・業績等（本学所定様式）＊該当がある場合
（５）査読つき学術論文 3 編程度の別刷りまたはコピー
（６）これまでの研究概要（1,000 字程度）
（７）教育、研究についての抱負（1,000 字程度）
（８）応募者について意見を伺える方 2 名の氏名、所属及び連絡先
（９）写真台帳　（所定の写真台帳に写真を貼付のこと）

19.書類送付先　〒376-8515　群馬県桐生市天神町一丁目 5-1
群馬大学大学院理工学府物質・環境部門
化学システム工学プログラム長　佐藤　和好
簡易書留にて「物質・環境類　化学システム工学プログラム分野教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20.選考内容　書類選考の上、合格者に対し面接（プレゼンテーションや模擬授業を含む）を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21.問い合わせ先　群馬大学大学院理工学府物質・環境部門
化学システム工学プログラム長　佐藤　和好
電話:0277-30-1452
e-mail:kazuyoshi-sato@gunma-u.ac.jp

22.そ の 他
（１）応募書類に記載された個人情報は、本選考以外の目的には使用しません。
（２）群馬大学は男女共同参画を推進しており，業績（研究業績，教育業績，社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には，積極的に女性を採用します。なお，女性研究者等に対する支援制度については，こちらをご参照ください。
（リンク先：https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/）
（３）若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
（４）若手研究者（採用年度の年度末年齢 39 歳以下）、女性研究者、外国人研究者については、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。